

基本的考え方

自然の恵みあふれる美しい多摩川の流れ、^{カガ}河岸の緑と市街地に連続して残る河岸段丘の貴重な緑、さらに水を支える両岸の山地や丘陵地は、多摩川と一体のものです。これらは、都市に安らぎと潤いを与える大切な自然環境資源であるとともに、市街地の崖線の緑は、延焼の防止などの防災機能からも重要です。多摩川と一体的な自然環境と景観を守り育てていきます。

また、多摩川の水辺は、自然環境の骨格を担う緑の連続的な空間であり、市民をはじめ都民にとっても大切な資産として、積極的に保全するとともに、人々が憩い水に親しめる空間としての活用も進めていきます。

①多摩川と周辺地区の良好な景観形成

多摩川沿いの市街地については、多摩川の自然環境との調和を図るため、容積率の見直しや特別用途地区^{*}の指定、高度地区の適用拡大を検討するとともに、「青梅市の美しい風景を育む条例」にもとづく景観形成地区の指定を行います。また、地区内の公共施設や建築物、広告物、樹木などの景観形成に必要なと思われる事項について、景観形成計画や景観形成基準を定め、これにもとづく適正な誘導により、良好な景観を形成します。

②多摩川の崖線緑地^{*}の保全

多摩川の崖線の緑は、自然環境やまちの良好な景観形成の大切な資源として保全するため、「多摩川由来の崖線の緑の保全に向けてのガイドライン」にもとづき、東京都や関係市と協力して保全施策を検討していきます。

(1) 上流地域の整備方針(神代橋から上流)

ア 地域の特性

秩父多摩甲斐国立公園内であり、御岳渓谷を中心に、^{カガ}河岸の緑とともに清流としての環境が保たれています。川沿いには、美術館や博物館などの文化的施設が集積しており、市民や観光客が年間を通して多数訪れます。また、御岳、沢井、柚木の一部には、多摩川に接した集落があります。



御岳渓谷

イ 地域の整備方針

美しい渓流と崖線の緑、都民の飲料水源としての清流を保全します。このため、秩父多摩甲斐国立公園の特別地域の指定を河川敷から崖線部へ拡大するよう促進していきます。

バーベキューなど河川環境への影響が懸念される水辺の利用については、施設整備やルールづくりなどを検討していきます。また、御岳山などの公共下水道の整備を推進し、大沢川などの多摩川上流域の水質保全を図ります。

多摩川におけるカヌー拠点や散策路などの整備により、アウトドアスポーツの交流人口の拡大や、自然体験型の観光レクリエーションと既存の美術館などの文化的施設との連携を強化し、回遊性のある観光地として魅力の向上を図ります。

(2) 中流地域の整備方針(神代橋から調布橋)

ア 地域の特性

川幅も徐々に広くなり、両岸の河岸段丘上には市街地が形成されています。河岸の崖線の緑は比較的保全されていますが、市街化区域内の河岸や河岸段丘上の崖線の一部には、マンションが建っています。

また、都市計画緑地である釜の淵緑地や市立美術館、郷土博物館などの施設があります。

イ 地域の整備方針

多摩川沿いの散策路の確保とともに、釜の淵緑地については、多摩川の自然環境を保全しつつ、レクリエーションや市民が水に親しめる場としての充実を図ります。

また、河川を利用したバーベキューなどが広域的に行われていますが、多摩川の水質や環境の保全を図るため、施設整備やルールづくりなどを検討していきます。

釜の淵付近の市立美術館、郷土博物館と下流部に位置する長淵地区の文教施設との連携や、多摩川の親水空間の活用により、文化・芸術活動拠点として地域の魅力の向上を図ります。

多摩川沿いの市街地については、多摩川の自然環境や景観との調和を図るため、建築物の高さの最高限度が定められていない地区についての、適正な高さの制限を検討します。



釜の淵緑地

(3) 下流地域の整備方針(調布橋から下流)

ア 地域の特性

川幅が広く流れはゆるやかであり、河岸の崖線には緑の自然環境が残っています。両岸の河岸段丘には市街地が形成されており、マンションなどが建っています。また、市街地の河岸段丘の崖線には連続した緑が残っています。

河川敷を利用した市民球技場など、市民のためのスポーツ・レクリエーション施設もあります。

イ 地域の整備方針

多摩川沿いの散策路の確保とともに、スポーツ・レクリエーション施設などを通じて、市民が水に親しめる空間として活用します。また、「おうめ水辺の楽校^{がっこう}」などを中心とした自然観察、環境学習などの充実を図ります。なお、河川を利用したのバーベキューなどが、広域的に行われていますが、多摩川の水質や環境の保全を図るため、施設整備やルールづくりなどを検討していきます。長淵地区の文教施設と中流地域に位置する市立美術館、郷土博物館との連携や、多摩川の河川敷を活用した自然体験学習機能の導入などにより、文化・芸術活動の拠点として地域の魅力の向上を図ります。

多摩川沿い市街地については、多摩川の自然環境や景観との調和を図るため、建築物の高さの最高限度が定められていない地区についての、適正な高さの制限を検討します。



河川敷の市民球技場

【多摩川沿い地域の整備方針】を実現化するための施策

- 容積率の見直し、特別用途地区^{*}の指定
- 多摩川沿い景観形成地区の指定
- 景観形成地区内の景観形成計画・基準の策定・誘導
- 「多摩川由来の崖線の緑の保全に向けてのガイドライン」にもとづく保全施策の検討
- 自然公園法にもとづく秩父多摩甲斐国立公園の特別地域の拡大促進(上流地域)
- 公共下水道の整備(上流地域)
- 都市計画緑地の充実(中流地域)
- 高度地区の適用区域の拡大(中流・下流地域)
- 散策路などの水辺施設の整備(上流地域～下流地域)

図4-4 多摩川沿い地域の整備方針図(上流地域)

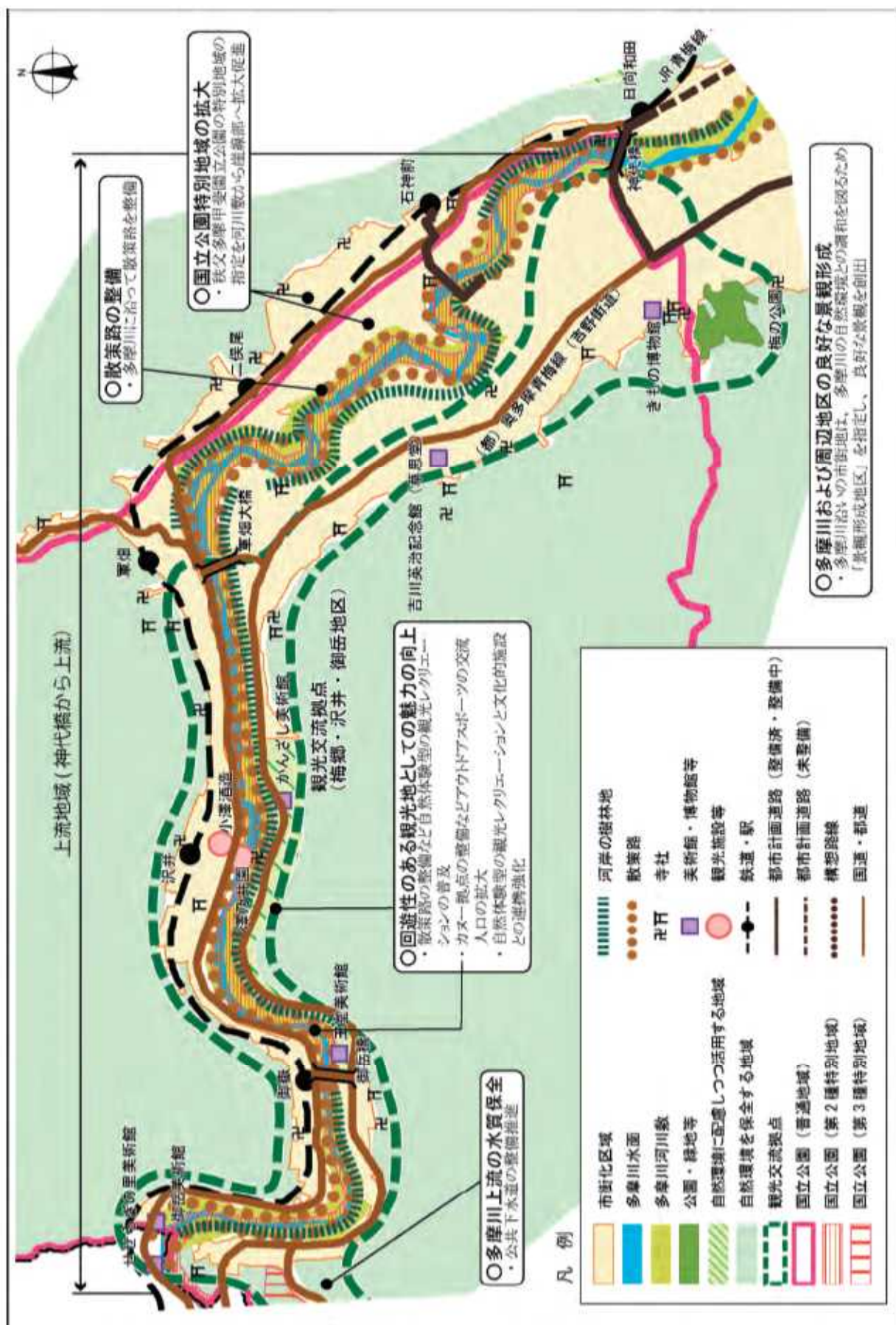


図4-5 多摩川沿い地域の整備方針図(中流地域)

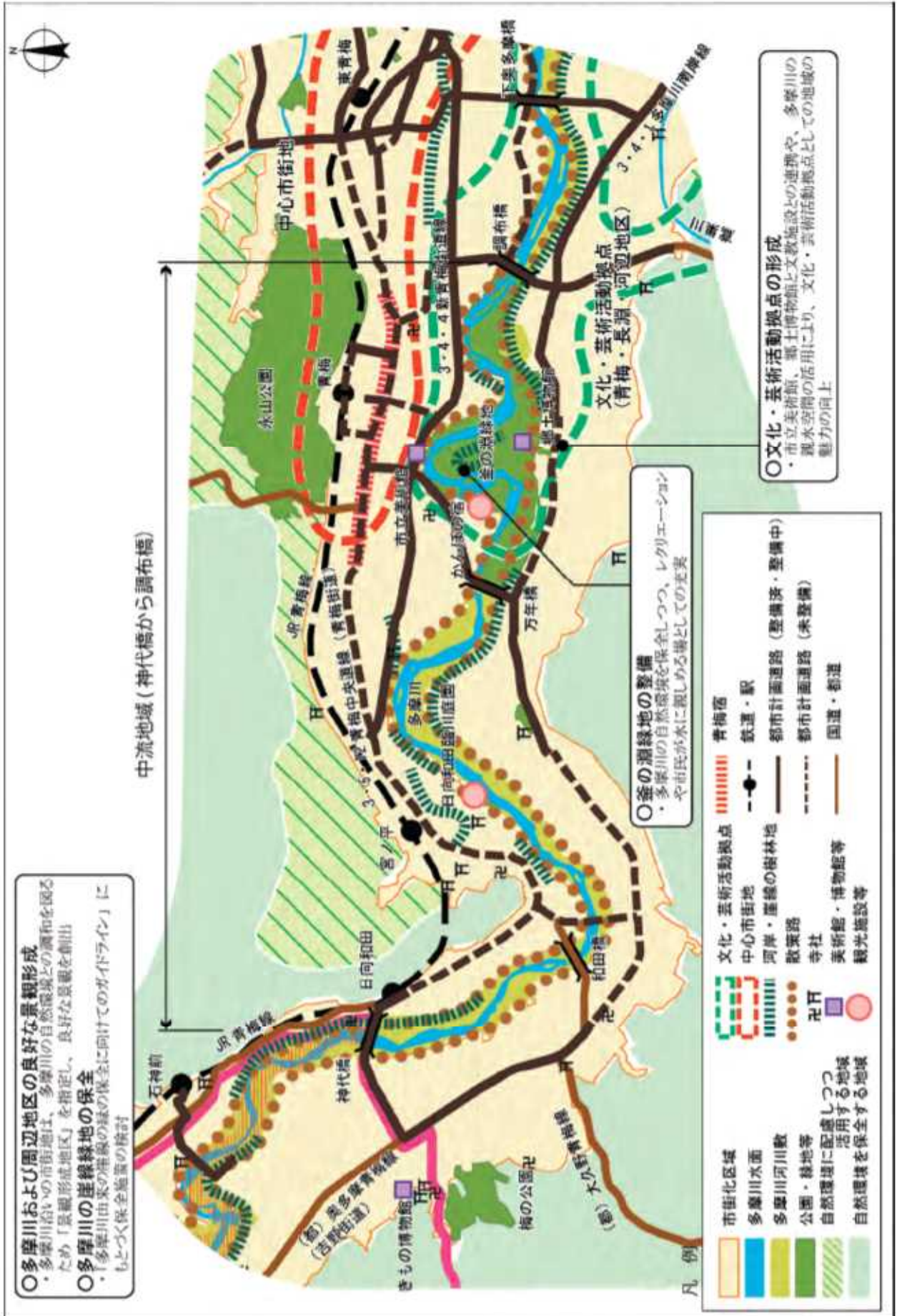


図4-6 多摩川沿い地域の整備方針図(下流地域)

